

協働型政策の推進

山口維新の会

市の施策に市民自ら関わり、検証する
市の政策に関心もって、考えてみませんか？

山口市議会報告 第二号
発行責任者 竹中一郎

十朋亭維新館が9月29日に開館！

明治維新の扉を開いた山口の歴史にふれるミュージアムです。
山口の幕末・明治維新を楽しく学んでいただくことができます。



亀山公園山頂広場が9月22日に リニューアルオープン！

山口の歴史を感じることができる新たな憩いの場としてリニューアルし、
大内文化が薫る市街地全体が一望できるようになりました。



スマホでもっと
楽しもう！

ARマークを
探してみよう！

ARマーク



観光ボランティアガイドが
山口市の歴史をガイドします！



9月～11月の土日祝日限定で山口市内の観光
地を周遊する「**山口市観光周遊バス**」を運行しています。
〈1日乗車券 【大人】500円 【小人】250円〉
乗り降り自由の周遊バスの特長を活かし、山口市の観光地を
ガイドの説明を聞きながら、訪れてみませんか？



やまぐち秋往還語り部の会の
ガイドが同乗します！

15周年を迎えた山口情報芸術センター(YCAM)の今後の展開は？

展示スペース、劇場、ミニシアター、市立中央図書
館を併設する複合文化施設として開館15周年を
迎え、新しい表現の探求を軸に多彩なイベントを
開催していることをご存知ですか？

行ってみませんか？催しに参加してみませんか？



15周年記念イベント
コロガル公園 commons 2018
(10月28日まで開催)

特徴的な形状の床面には、スピーカーや映像などのメディアテクノ
ロジーが随所に埋め込まれており、子どもたちが遊びを発想するための
「種」として機能します。



YCAM15周年記念



15周年記念公演
イスラエル・ガルバン
(2019年2月2日・3日開催)

天才フラメンコダンサーが
自らの人工知能(AI)と競演

スペインを拠点に活躍するダンサー
のイスラエル・ガルバンとYCAMの
コラボレーションによる新作ダンス
作品を発表する公演です。

撮影:新津保建秀
写真提供:山口情報芸術センター[YCAM]

市の政策に直接関わって、観て、体感して、経験して、一緒に評価してみませんか？

12月定例会市議会の本会議で我が会としては下記について市に問います！

- 山口市の観光地域づくりについて
- 山口情報芸術センターについて

「新山口駅北地区拠点施設」

メディカルフィットネスって？ アカデミーハウス???

問 メディカルフィットネスは多くの市民が利用できるのか？

答 医療事業と連携した運動プログラムの提供、実践等により市民の健康意識を高め健康寿命を伸ばす事を主な目的とする。例えば午前中はシニアの方へ高齢期に必要なプログラムで汗を流していただき、午後からは子育て中のお母さんたちにヨガを通じて心と体のリフレッシュを図っていただき、夜は仕事帰りのビジネスマンにダイエットや筋力アップに取り組んでいただいたり、さまざまなプログラム、サービスの提供を検討している。運営に当たっては、月会費のみならず一回のみの使用も可能にするとともに、利用しやすい料金体系も検討している。利用者は一日あたり少なくとも300人程度の利用を想定している。

問 アカデミーハウス(シェアハウス)は起業を目指す人の居住型人材育成施設として機能するのか？

答 いかに熱意ある優秀な人材を確保するかということが重要である。地元企業、大学等との連携に向けて検討・調整をしている。地域に根ざした、地域で活躍してくれる人材の育成につなげていく。

問 環境配慮住宅の居住者は誰になるのか？

答 誘致企業で働く人や、ふるさと山口への回帰を望む人たちに入居してもらおう。4棟36戸を民間事業者の投資により、整備・運営される。交流事業や地域貢献に理解のある方を優先的に入居していただく。

討論 新山口駅北地区拠点施設整備については、十分市民に対する説明が尽くされていないと考えている。民間からの提案をあまりに鵜呑みにしすぎてはいないか、市としての検討が十分なされているか、自分たちがやっていること、判断は絶対に間違っていないと考えていないか、と懸念をしている。
※討論とは、議題となっている案件が採決に付される際にその前段階においてその案件に対して議員が賛成又は反対の意見を表明すること。
今回は当整備についての議案がないため、指摘として発言しました。

「防災対策」

水害対策としてしゅんせつや立木伐採は実施して欲しい!!

問 災害のリスクを抑えるためにどのようにして河川の危険箇所の対策を行うのか？

答 河川のパトロールや樋問施設、ゲートの点検を定期的を実施し、異常を発見した箇所や地域から要望を受けた箇所のしゅんせつ、立木伐採、修繕に取り組む。

問 河川内の立木伐採や除草作業など、住民が主体的に取り組むことに支援はできないのか。地域住民と協働でできる対策はないのか？

答 地域住民ボランティアによる河川環境美化活動には清掃用具等の支給制度を実施し、県管理河川については河川環境美化活動助成事業の助成金を交付されている。

「消防」

消防職員の人材確保を積極的に!!

問 景気が回復すると、消防も人材確保が困難になるのか？

答 消防の人材確保については、景気に左右されることが考えられ、過去10倍程度あった応募倍率も最近数年では4倍から5倍に落ち込んでいる。要因としては、受験者が売り手市場であることや、消防の試験が始まる前に企業から内定を得ていることなどが考えられる。

問 これからの対策をどう考えているか？

答 今年度は本市においても「1Dayインターンシップ(職場体験)」を開催するなど人材確保に向けた取組を積極的に進めているところで、今後は、県内の消防本部とも連携を図りながら県内統一でインターンシップを開催するなど、多くの優秀な若者の人材確保に向け取組を進めたいと考えている。